県内全域を襲った
集中豪雨

6月20日以降続いている猛烈な雨は、町内に甚大な被害をもたらしました。

梅雨前線の影響で、6月20日夜から21日未明にかけて、激しい雷を伴う猛烈な雨が九州北部を襲いました。

県内各地で記録的短時間大雨情報が発表され、甲佐町では全国観測史上4位タイの最大1時間雨量150㍉を観測。御船町でも20日の23時30分時点で約110㍉を観測しました。

大雨の影響で御船川の水位は見る間に上昇し、一時は氾濫危険水位を超える水位を観測。町内各地で河川や用水路が氾濫し、冠水や床上床下浸水などの被害が出ました。

また、各地区で土砂崩れが発生。一部の集落が孤立したほか、家屋の倒壊や負傷者がでるなど、甚大な被害が出ました。

自然の猛威、再び。

水越の竹山が崩れている様子。県道横野矢部線は一時通行止めになった。